



我等行く手の



令和4年度
6月号
利根商
進路だより

● 三者面談に向けて

1学期期末試験も終わり、いよいよ夏休み目前ですね。楽しみではありますが、その前に7月は三者面談週間があります。今までの学校生活を振り返るとともに、これからの進路について保護者の方としっかりと話し合う大切な機会になります。そのため、自分の面談を迎える前にしっかりと準備をしたいものです。

● 進学と学費

毎年多くの進学希望のご家庭から相談を受けるのが、進学にかかる「学費」についてです。特に四年制大学に進学希望の場合、4年間の学費が家計の負担となってしまうので、大学進学を諦めてしまうという話もよく聞きます。しかし、実はその学費の負担が様々な方法によって免除されることがあるのです。今回はその例の一部を紹介します。

● 入試制度（特待入試）

大学によっては入試の成績上位者に授業料免除や減額の特典を与える学校があります（主に私立大学）。そのため、高校生活中の努力が認められ、在学中の金銭面の負担が大幅に減ることがあります。大学進学を希望していて、金銭面に不安がある場合は、まず勉強しましょう！

● 資格特待生

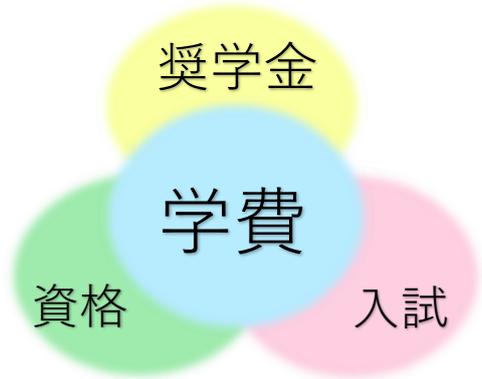
特待生で考慮されるのは入試での得点だけではありません。実は高校卒業までに取得した資格によって、授業料を免除、もしくは減額してくれる私立大学が多くあります。特に本校は商業高校であるため、資格取得のチャンスは数多くあります。そのため、各検定試験ごとにしっかりと合格を目指して努力することで、進学や就職の幅が広がるだけでなく、進学後の負担を減らすことができます。

● 奨学金

大学、短大、専門学校などの校種に関わらず、奨学金を借りることができます（三年次の春にお知らせしています）。各家庭の状況に応じて、利子の無いものや給付型の奨学金を得られる場合もあります。また、大学によっては授業料の免除や減額を行っているところもあるので、気になる場合はオープンキャンパスや入試説明会などで相談すると詳しく教えてくれます。日本学生支援機構のHPで簡単にシュミレーションをすることもできます。

● まとめ

以上のように進学するにあたって、高校生活の中での努力や活躍が評価され、学費の面で優遇されることが非常に多くなりました。今まで金銭面での不安で進学を諦めようと思っていた人も、これからの努力次第で挽回することが可能になるかもしれません。日々の学習や資格取得を大切にしながら進路と向き合ってください。来週からの三者面談が実りあるものになることを願っています。



● 資格特待制度の例

ある県内私立大学の資格特待制度の例です。

授業料 全額免除	・ 実用英検準1級以上 ・ 日商簿記検定1級 ・ 漢検1級 など
-------------	--

授業料 半額免除	・ 実用英検2級 ・ 日商簿記検定2級 ・ ITパスポート試験 ・ 漢検準1級 など
-------------	---

授業料 30%免除	・ 実用英検準2級 ・ 全商簿記検定1級 ・ 全商情報処理検定1級 ・ 漢検2級 など
--------------	--

授業料 15%免除	・ 全商簿記検定1級（原価） ・ 全商商業経済検定2級 ・ 全商ビジネス文書1級 ・ 全商珠算・電卓検定1級 ・ 漢検準2級 から2つ
--------------	---

※この他にもまだまだ優遇されることが多数あります！